



JTSU-E  
八地申第10号  
7月7日提出!

## 社員とお客さまの生命を守ることを最優先とした 安全な鉄道輸送を創り出す申し入れ

八王子支社管内では6月に入り、相次いで生命に関わる事象が発生しています。6月6日に、武蔵野線北府中～府中本町駅間のトンネル内が冠水しているにも関わらず営業列車を進入させ、水面に衝突し補助排障器が破損、水かさが増すトンネル内で長時間運転見合わせとなる事象が発生しました。また、E353系車両では、同月2日に「車体傾斜システム（空気バネ）故障」が発生し、現場での処置が出来ずに営業運転が継続された事象があり、同月13日には、降雨時に前頭運転台の「ワイパー故障」を申告するも、対応可能な次の停車駅まで前方確認が不十分な状況で営業運転を継続させた事象もありました。

これらの事象は、社員とお客さまの生命と安全を脅かす事象であり、社員への周知や再発防止に向けた対策・教育を早急に行う必要があります。

しかしながら、現場では上記事象についての社員周知や、再発防止に向けた教育・訓練が未だに行われておりません。これでは、いつ同じ事象が発生してもおかしくない事態であるばかりか、過去に同様な事象が発生し、そこから得た教訓が一切活かされていないことは、会社としての危機管理能力が低下していると言わざるを得ません。

したがって、社員とお客さまの生命を守ることを最優先とした安全な鉄道輸送を創り出すために、下記の通り申し入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

### 一申し入れ項目一

1. 武蔵野線、北府中～府中本町間で発生したトンネル内冠水の原因や経過を明らかにすること。また、当該列車を運転再開させた根拠を明らかにすること。
2. 過去にも武蔵野線内でトンネル冠水が発生していることから、冠水の恐れがあるトンネルを明らかにすること。また、冠水防止対策を明らかにすること。
3. E353系営業列車での「車体傾斜システム故障」により速度種別を変更し営業運転を継続させた事象の原因及び経過（指令等の関係箇所とのやり取りを含む）を明らかにすること。また、本事象に対する会社見解と具体的な再発防止策を明らかにすること。
4. E353系営業列車での降雨時に前頭運転台「ワイパー故障」の申告を受けたにも関わらず、営業運転を継続させた事象の経過及び故障の原因（指令等の関係箇所とのやり取りを含む）を明らかにすること。また、本事象に対する会社見解と具体的な再発防止策を明らかにすること。
5. 車両の安全性向上により安心出来る環境をお客さまへ提供するために、不具合が発生した際に対応にあたる体制を見直すこと。また、線区を走行している全車種の不具合に対応可能な教育を行い、修繕に必要な部品確保を行なうこと。
6. 日々発生する様々な事象について、社員への周知が行われていないことから、全ての事象を社員へ周知し、安全性の向上に努めること。

## 安全第一の職場風土を私たちの手で創り出そう!